

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SKYビル	階数	地上5F
建設地	福岡県福岡市城南区神松寺1丁目	構造	S造
用途地域	商業地域, 第二種住居, 準防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	事務所, 集会所, 工場, 等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 0.0	評価の実施日	2016年3月5日
敷地面積	2,455 m ²	作成者	辻
建築面積	1,962 m ²	確認日	2016年3月10日
延床面積	6,209 m ²	確認者	諫山敏志

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.8

LR のスコア = 2.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 1.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 1.9

3 設計上の配慮事項	
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 住宅が周辺に多いため、外観色を抑えめに、車/バイク/自転車置場を十分に確保する等周辺へ配慮している。	その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ばちんこ店の音が外部にできる限りもれないよう又快適な店舗環境の確保の面からすべての出入りに風除室	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 快適な店舗・事務空間を保つため、清掃しやすい仕上採用
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省水型機器を採用している。
	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外観はばちんこ店という用途ではあるが出来る限り周辺へ不快感を与えないような色彩計画としている。
	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 乱雑になりがちな自転車置場等を通路を利用して建物側に計画することで歩行者へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される